

日本芸術文化振興会ニュース

Japan Arts Council News

PICK UP /

東京
国立劇場
(小劇場)

国立劇場では、伝統芸能伝承者の養成事業として、昭和45年に歌舞伎俳優研修を開始しました。以後、歌舞伎音楽の竹本、鳴物、長唄の課程を順次実施し、数多くの修了者を送り出しています。既成者研修発表会「稚魚の会・歌舞伎会合同公演」(歌舞伎俳優)、「音の会」(歌舞伎音楽)は、修了者や直接入門した既成者が日頃の研鑽の成果を発表する場として毎年8月に開催しています。

国立劇場歌舞伎音楽既成者研修発表会

第24回 **音の会**

8月6日(土)、7日(日) 11時開演 (13時30分終演予定)

料金 3,000円 販売 好評発売中

鳴物 **常磐の庭**
長唄 **秋色種**
義太夫 **蝶の道行**
長唄 **筑摩川**



昨年の舞台より 長唄「楠公」

坂東 巳之助=監修
坂東 三津之丞=振付
義太夫 **団子売**
舞踊

協賛：松竹株式会社・一般社団法人伝統歌舞伎保存会

◎研修だよりに出演者のコメントを掲載しています。

国立劇場歌舞伎俳優既成者研修発表会

第28回 **稚魚の会・歌舞伎会合同公演**

8月12日(金)~16日(火) 13時開演 (16時終演予定)

料金 4,700円 販売 好評発売中

竹田出雲・三好松洛・並木千柳=作
松本 白鸚=監修・指導
松本 錦吾=監修・指導

双蝶々曲輪日記 二幕

堀江角力小屋の場
八幡の里引窓の場



昨年の舞台より「新皿屋舗月雨暈一魚屋宗五郎一」

藤間 勘祖=振付

俄 **獅子** 長唄囃子連中

協賛：松竹株式会社・一般社団法人伝統歌舞伎保存会

◎研修だよりに出演者のコメントを掲載しています。

東京
国立演芸場

第460回 **国立名人会**

8月13日(土) (18時開演)

料金 3,300円

販売 好評発売中

落語「棒鱈」

古今亭 文菊

落語「星野屋」

五明樓 玉の輔

落語「悲しみは埼玉に向けて」

柳 家 小ゑん

一伸入り一

浮世節 **立花家 橋之助**

落語「唐茄子屋政談」

五街道 雲助



国立文楽劇場歌舞伎俳優既成者研修発表会

第32回 **上方歌舞伎会**

8月24日(水)~25日(木) (13時・17時開演)

料金 4,700円

販売 好評発売中

大阪
国立文楽劇場

片岡 我 當=監修
片岡 仁左衛門=指導
中村 鴈治郎=指導
片岡 孝太郎=指導
上村 吉 弥=指導

いせおんどごいのねば **伊勢音頭恋寝刃** 一幕二場

古市油屋店先の場
同 奥庭の場

藤間 豊 宏=振付

のりあいぶねえ ほうまんざい **乗合船恵方万歳** 常磐津連中



協賛：松竹株式会社・一般社団法人伝統歌舞伎保存会

「上方歌舞伎会」は、関西の若手歌舞伎俳優有志による勉強会「若鮎の会」のメンバーにその他の上方系の俳優が加わり、新たな勉強の場として平成2年より国立文楽劇場で開催してまいりました。上方歌舞伎の継承を志す若い俳優達が、明日への糧として大きな役に挑みます。

チケット
お申込み

国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場
☎ 0570-07-9900/03-3230-3000[一部IP電話等] (10時~18時)
国立劇場チケットセンター 検索

新国立劇場 ☎ 03-5352-9999 (10時~18時)

新国立劇場 検索

国立劇場おきなわ ☎ 098-871-3350 (10時~17時30分)

国立劇場おきなわチケットカウンター 検索

東京		大阪	
東京		大阪	
東京		大阪	
1 月	国立劇場	国立演芸場	国立能楽堂
2 火	大劇場	上席 (1日~10日) 13:00 ※6日(土)は貸切です。	
3 水	小劇場	とび出せ! 白酒ひとり さん橋十八番集 ～夏の夜ばなし～ 03-6277-7403	18:30 企画 ◎働く貴方の能楽公演 狂言「人間川」能「安達原」
4 木		立川談笑独演会 ▶夢空間 0570-06-6600	13:00 企画 ◎親子で楽しむ狂言の会 狂言「伊呂波」狂言「六地藏」
5 金	11:00		
6 土	第24回 音の会		
7 日	11:00		
8 月		講談まつり 怪談 ▶講談協会	
9 火		怪談の世界 神田松雄 神田阿久穂真子会 03-5392-8486	
10 水			
11 木		中席 (11日~20日) 13:00	
12 金	13:00	18:00 第460回 国立名人会	
13 土	13:00		
14 日	市馬落語集 ～お盆特別公演～ 03-6277-7403	わん夫ストリート ▶神楽坂演劇77(スエズ) Vol.34 03-6277-7403	
15 月	13:00		
16 火	13:00		
17 水		《壺小屋納涼興行》 葉月の独り看板 辰気楼龍玉 「怪談牡丹燈籠」 三夜連続公演	野村幻雪 (四郎改) ▶アトリエ花習 追悼公演 090-9676-3798 夏休み親子の 能楽教室 ▶梅若研能会 03-3466-3041
18 木	争曲管絃会 ▶ジュニア会員事務局 ジュニア会員全国大会 03-3260-0308		
19 金			
20 土	第58回 正派若柳流若柳会 正派若柳流定期公演 03-3828-5204		
21 日		13:00 第521回 花形演芸会	
22 月			
23 火	尾上右近自主公演 第六回 研の會 080-4862-5858		
24 水			
25 木		13:00 企画 ◎素の魅力 独鼓「第之段」袴能「巖」ほか	
26 金			
27 土	第33回全国高等学校 総合文化祭優秀校 東京公演 03-3830-1217		13:00 企画 ◎親子で楽しむ能の会 能「舍利」
28 日			上方落語百年の計 ～夏の段「天下第一浮礼扇」～ 0797-88-1307 ▶事務局 山村若佐紀 ▶山村若佐紀 上方舞臺の会 06-6722-3708
29 月			
30 火	第三回 古典芸能を未来へ 「長唄」▶NHKエンタープライズ 03-5478-8533		
31 水			

国立能楽堂

今月の注目はこちら
PICK UP

定例公演 **9月16日(金)17時30分開演(19時30分終演予定)**

狂言 舎弟 茂山 逸平 (大藏流)
能 松虫 宝生 和英 (宝生流)

【舎弟】 兄からいつも「舎弟」と呼ばれる弟。その意味を尋ねに知人の所へ出かけます。知人が「舎弟とは盗人のこと」と嘘を教えたと、弟はそれを真に受けて…。

【松虫】 松虫の音に引かれ野に分け入ったまま空しくなった友を、自らか亡霊となっても偲び続ける男。虫の音響く秋の夜に友を懐かしむ舞を舞い、詩情豊かに男の友情を描きます。

料金 正面5,000円/脇正面3,300円/中正面3,000円
販売 《電話・インターネット予約》8月10日(水)10時より
《窓口販売》8月11日(木・祝)より

東京		大阪	
東京		大阪	
東京		大阪	
1 月	国立文楽劇場	文楽劇場	小ホール
2 火		夏休み文楽特別公演 (7月16日~8月4日) ■第1部 親子劇場 (11:00) 「鈴の音」「瓜子姫とあまんじゃく」ほか ■第2部 名作劇場 (13:30) 「心中天網島」 ■第3部 サマーレイトショー (17:30) 「花上野菩提」「紅葉狩」	
3 水			
4 木			
5 金			
6 土		人形浄瑠璃 文楽夢想継承伝 06-6631-0659	霜乃会公演 霜乃会事務局 070-2635-6644
7 日		旭堂南照独演会 ▶旭堂南照 090-2387-5081	第36回山村流 ゆかた会 ▶山村光 06-6761-8114
8 月			
9 火			編纂会 ▶文楽協会 06-6211-1350
10 水			
11 木		五羅會 ▶五羅會事務局 042-458-7670	
12 金			
13 土			
14 日			
15 月			
16 火			
17 水			
18 木			
19 金			
20 土	13:00 第25回 文楽素浄瑠璃の会		
21 日			
22 月			
23 火			
24 水	13:00 17:00 第32回 上方歌舞伎会		
25 木	13:00 17:00		
26 金			
27 土			
28 日			
29 月			
30 火			
31 水			

国立文楽劇場

8月邦楽公演
第25回 **文楽素浄瑠璃の会**
8月20日(土)13時開演(16時35分終演予定)

碁太平記白石噺 逆井村の段
浄瑠璃 竹本 千歳 太夫
三味線 豊 澤 富 助

おうしや だちが達原 奥州祭文の段
浄瑠璃 豊 竹 呂 太 夫
三味線 鶴 澤 清 介

げん べい ぬの びきのなき 源平布引滝 九郎助住家の段
浄瑠璃 竹本 鍛 太 夫
三味線 鶴 澤 藤 蔵

料金 5,000円 販売 好評発売中

東京		大阪	
東京		大阪	
東京		大阪	
1 月	新国立劇場	オペラバレス	中劇場
2 火			
3 水			
4 木			
5 金			
6 土	14:00	東京シティ・バレエ団公演 「白鳥の湖」～大いなる愛の讃歌～ ▶contact@tokyocityballet.org	ミュージカル 「BE MORE CHILL」 ▶TBSチケット 0570-068-489
7 日	14:00		
8 月			
9 火			
10 水			
11 木			
12 金			
13 土			
14 日			
15 月			
16 火			
17 水			
18 木			
19 金			
20 土			
21 日			
22 月			
23 火			
24 水			
25 木			
26 金			
27 土			
28 日			
29 月			
30 火			
31 水			

新国立劇場

バレエ
バレエ・アステラス 2022
～海外で活躍する日本人バレエダンサーを迎えて～
8月6日(土)・7日(日)14時開演

【出演】平田桃子&平野亮一/佐々晴香&アンドレア・マリーノ
石崎双葉&ダミアン・トリオ/奥野 凜&ロベルト・エナケ/
奥村 彩&アレクサンダー・カニヤ/岡谷円香&ルカ=アンドレア・テッサリーニ/
ジェシカ・マカン&中野吉章/ムーセ・ニュー・クララ&アクリ・瑠嘉
池田理沙子&渡邊峻輝/新国立劇場バレエ研修所 (第18・19期生、予科生)

料金 S席6,600円/A席5,500円/B席4,400円/
S席セット券12,000円/Z席(当日のみ)1,650円
販売 好評発売中

東京		大阪	
東京		大阪	
東京		大阪	
1 月	国立劇場おきなわ	大劇場	小劇場
2 火			
3 水			
4 木			
5 金			
6 土	14:00	親子のための組踊鑑賞教室 「万歳敵討」	
7 日	14:00		
8 月			
9 火			
10 水			
11 木	14:00	演劇公演 演劇研修所第16期生 朗読劇 「ひめゆり」	
12 金	18:30		
13 土	14:00		
14 日	14:00		
15 月			
16 火			
17 水			
18 木			
19 金			
20 土	14:00	沖縄の音色 ～うちなー楽隊ありんくりん～	
21 日			
22 月			
23 火			
24 水			
25 木			
26 金			
27 土			
28 日			
29 月			
30 火			
31 水			

国立劇場おきなわ

普及公演
沖縄の音色
8月20日(土)14時開演

子どもから大人まで楽しめる沖縄音楽の入門編となる公演です。第一部では、沖縄の伝統楽器である三線や箏、笛、胡弓、太鼓について、演奏を交えて紹介し、楽器の伝来や材質、演奏方法なども、案内役と演奏者がわかりやすく解説します。第二部では、伝統的な楽曲と、現代の作曲家・演奏家により創作された新しい作品をあわせてご鑑賞いただきます。沖縄を代表する作曲家・普久原恒勇氏の作品をはじめ、伝統楽器で奏でる魅力あふれる楽曲と演奏をお楽しみください。

料金 2,300円 販売 好評発売中

東京		大阪	
東京		大阪	
東京		大阪	
1 月	国立劇場おきなわ	大劇場	小劇場
2 火			
3 水			
4 木			
5 金			
6 土	14:00		
7 日	14:00		
8 月			
9 火			
10 水			
11 木	14:00		
12 金	18:30		
13 土	14:00		
14 日	14:00		
15 月			
16 火			
17 水			
18 木			
19 金			
20 土	14:00		
21 日			
22 月			
23 火			
24 水			
25 木			
26 金			
27 土			
28 日			
29 月			
30 火			
31 水			

国立劇場おきなわ

普及公演
沖縄の音色
8月20日(土)14時開演

子どもから大人まで楽しめる沖縄音楽の入門編となる公演です。第一部では、沖縄の伝統楽器である三線や箏、笛、胡弓、太鼓について、演奏を交えて紹介し、楽器の伝来や材質、演奏方法なども、案内役と演奏者がわかりやすく解説します。第二部では、伝統的な楽曲と、現代の作曲家・演奏家により創作された新しい作品をあわせてご鑑賞いただきます。沖縄を代表する作曲家・普久原恒勇氏の作品をはじめ、伝統楽器で奏でる魅力あふれる楽曲と演奏をお楽しみください。

料金 2,300円 販売 好評発売中

展示情報

入場無料!
伝統芸能をさらに深く学べます。

◆伝統芸能情報館 (国立劇場敷地内)
入門展「いざ、歌舞伎」
開催中・10月26日(水)まで

歌舞伎は四百年以上の歴史の中で、各時代の役者、狂言作者、職人、そして観客が力を合わせて創り上げた、知恵と美意識の結晶といえるものです。本展は初めて歌舞伎をご覧になる方や歌舞伎についてもう少し深く知りたい方にも、基本的な約束事やその味わい方をわかりやすくご紹介します。10時～18時開室、8月休室日：なし
☎03-3265-7061(直)

◆国立演芸場 (1階演芸資料展示室)
企画展「曾我廼家五郎」「喜劇の誕生」
8月1日(月)～11月23日(水・祝)

明治末期に上方喜劇の礎を築き、大正から昭和初期には日本の喜劇王として君臨した曾我廼家五郎。彼の作品や上演は、現在の松竹新喜劇の人情喜劇の系譜に継承されているとはいえ、その名を知る人は少なくなりました。本展示では、国立劇場所蔵の遺品を中心に曾我廼家五郎の生涯と業績をたどりま。10時～17時開室、8月休室日：22日～31日
☎03-3265-7061(直)

◆国立能楽堂 (1階資料展示室)
企画展「秋の風 能楽と日本美術」
8月25日(木)～10月21日(金)

「日本博」の総合テーマ「日本人と自然」の趣旨に添い、また期間中に行われる能(松虫)・復曲能(薄)の上演にあわせ、秋をモチーフとした能装束・楽器や同時代の絵画・美術工芸品を対比させながら展示します。11時～17時開室、8月休室日：29日
☎03-3423-1331(代)

◆国立文楽劇場 (1階資料展示室)
入門展示「文楽へようこそ」
開催中・9月25日(日)まで

夏休み公演で初めて文楽をご観劇される方でも、文楽の歴史や、太夫・三味線・人形等の基本的な内容への理解を深めていただける展示です。
夏休み文楽公演にちなんで資料や舞台写真を展示します。上演演目のあらすじのご紹介もご用意しますので、ご観劇前にどうぞお立ち寄りください。10時～18時開室、8月休室日：なし
☎06-6212-2531(代)

文化芸術活動に対する援助

独立行政法人日本芸術文化振興会では、芸術文化振興基金の運用益による助成事業と、国からの補助金(文化芸術振興費補助金)を財源とする助成事業を行っています。

今月のTOPICSはこちら



◆基金の目的

「芸術文化振興基金」は、すべての国民が芸術文化に親しみ、自らの手で新しい文化を創造するための環境の醸成とその基盤の強化を図る観点から、芸術家及び芸術に関する団体が行う芸術の創造又は普及を図るための活動、その他の文化振興又は普及を図る活動に対する援助を継続的・安定的に行います。

当基金は、政府から出資された541億円と民間からの出せん金165億円の計706億円を原資として、その運用益をもって文化芸術活動に対する助成に充てています。

◆助成対象活動の募集

助成対象活動の募集は、毎年度1回(国内映画祭等の活動は年2回)、公募により行います。具体的な募集の時期・方法、助成の対象となる活動等については、毎年度作成する募集案内で示します。

助成金の交付を希望する団体は、募集案内の定めるところにより、助成金交付要望書及び団体概要等を独立行政法人日本芸術文化振興会に提出いただきます。

◆助成対象活動の決定・助成金の交付

芸術文化振興基金運営委員会において応募活動に対する審査を行い、助成対象活動及び助成金の額が決定されます。採択された助成対象活動については、「芸術文化振興基金助成金交付要綱」の定めるところにより、所定の手続きを経て助成金が交付されます。

助成の対象となる活動	電話番号
音楽	03-3265-6338
舞踊	03-3265-6192
演劇	03-3265-6178
伝統芸能・大衆芸能	03-3265-6394
多分野	03-3265-6045
美術の創造普及活動	03-5213-4175
映画	03-3265-6312
地域文化施設公演・展示活動(文化会館公演)	03-5213-4169
地域文化施設公演・展示活動(美術館等展示)	03-5213-4174
アマチュア等の文化団体活動	03-5213-4164 4167
歴史的集落・町並み、文化的景観保存活用活動	03-5213-4172
民俗文化財の保存活用活動	03-5213-4172
伝統工芸技術・文化財保存技術の保存伝承等活動	03-5213-4172
劇場・音楽堂等機能強化推進事業	03-3265-6018

芸術文化振興基金ご支援(寄附)のお願い

芸術文化振興基金は、芸術・文化の振興又は普及を図るための活動に対する援助を継続的、安定的に行うことを目的として設立され、その運用益により、芸術文化団体等の活動に助成しています。皆様のご支援を頂きながら、活動を行っています。

趣旨にご賛同頂き、格段の御協力、御支援をお願いいたします。

研修だより

「音の会」「稚魚の会・歌舞伎会合同公演」 出演者からのメッセージ

【「音の会」出演者】

柁屋巳喜助

(平成31年3月第7期長唄研修修了。
尾上菊五郎劇団音楽部長唄。)

国立劇場養成課の研修課程を修了いたしました。2年目からコロナ禍となり、舞台上がらせていただく機会もめっきり少なくなりました。今回の「音の会」も貴重な機会を頂いたと思っております。また、この春に柁屋巳喜助とお名前を頂戴しましたので、その名に恥じないよう精一杯勤めたいと思います。

【「合同公演」出演者】

坂東家之助

(平成31年3月第23期歌舞伎俳優研修修了。市村家橋門下。)

「角力場」の放駒長吉を勉強させて頂くことになりました。「角力場」は「稚魚の会・歌舞伎会合同公演」でとりあげるの初めということもあり、非常に嬉しく思います。続いて「引窓」も上演するので、お客様にはより楽しんで頂けると思いますが、師匠方の教えを守り、しっかりと長吉を勤めたいです。

片岡市也

(平成31年4月、片岡市蔵に入門。)

「引窓」の母お幸を勉強させて頂きます。お役が決まったことを諸先輩方にお話しした際、多くの方から「大変だから頑張つて」と言われ、今から戦々恐々としております。しかし、

日本芸術文化振興会では、伝統芸能の次代の担い手を養成するため、歌舞伎、文楽、能楽、大衆芸能、組踊の各分野で研修を行っています。

だからこそ母お幸を勉強出来ることは、自分にとって大きな一歩になると思われれますので、精一杯稽古して本番に臨みます。よろしくお願致します。

◆◆

令和4年3月に研修を修了した研修生が歌舞伎俳優・歌舞伎音楽演奏者としての一歩を踏み出しました。

中村芝桜

(歌舞伎俳優・中村芝蔭門下)

竹本和太夫

(歌舞伎音楽竹本・太夫)

窪田優人

(尾上菊五郎劇団音楽部長唄・三味線方)



柁屋巳喜助



中村芝桜



坂東家之助



竹本和太夫



片岡市也



窪田優人

第28期歌舞伎俳優研修生 10月3日より応募受付開始
詳細はホームページから



国立劇場養成課

☎ 03-3265-7105 (直通)

✉ kokuritsu-boshu@ntj.jac.go.jp

10時～18時(土日祝日・年末年始を除く)

<https://www.ntj.jac.go.jp/training/trainee.html>

「未来へつなぐ国立劇場プロジェクト」始動！

独立行政法人日本芸術文化振興会（以下、「振興会」）が運営する国立劇場は、令和5年10月の公演を最後に閉場し、6年間の再整備期間を経て、令和11年秋に新たな国立劇場として開場する予定です。

今後の事業について、『未来へつなぐ国立劇場プロジェクト』として6月17日に発表しました。同日、初代国立劇場さよなら公演・記念事業のロゴマークを発表、また、振興会ホームページ内に特設サイトを開設しました。

今後の展開に是非ご注目ください！



初代国立劇場
さよなら公演

足立区との連携協力協定を締結いたしました！

振興会は、足立区と連携協力協定を締結しました。

国立劇場再整備期間中の主催公演の一部を足立区文化芸術劇場（以下、「シアター1010」）を優先的に利用し実施することで、足立区民等が伝統芸能に触れる機会を創出し、区民等への伝統芸能の普及等に寄与することを目的としています。

当協定に基づき、国立劇場再整備期間中の文楽公演の一部をシアター1010において、実施します。

6月25日に行った締結式では、近藤足立区長、河村振興会理事長に加え、文楽技芸員の桐竹勘十郎さん、文楽人形も登場し、華やかな式となりました。



伝統芸能情報館からのお知らせ

講座

企画展「曾我廻家五郎——「喜劇」の誕生」関連講座

■第84回伝統芸能講座

「喜劇の伝統—曾我廻家喜劇から松竹新喜劇、そして未来へ」

松竹新喜劇で上方喜劇の最前線を走ると同時に、自身の会では曾我廻家五郎作品の復活上演にも取り組む曾我廻家寛太郎氏。展示監修者の日比野啓氏と喜劇の伝統と未来を熱く語ります。

講師 曾我廻家寛太郎（松竹新喜劇）、日比野啓（成蹊大学教授）

日時 令和4年9月17日（土）14時～16時 ※途中休憩あり

場所 伝統芸能情報館3階レクチャー室

受講料 1,000円

募集 100名【抽選】全席指定 応募締切 8月19日（金）

◎応募方法等の詳細はHPをご覧ください。

国立劇場 伝統芸能講座 検索



国立文楽劇場からのお知らせ

配信

【国立文楽劇場】文楽プレミアムシアター第6回

往年の名舞台をオンラインでご覧いただけます。どうぞお楽しみに。

演目 「桂川連理柵」六角堂の段・帯屋の段
（昭和51年3月 国立劇場）モノクロ

出演 竹本越路太夫（四代）、竹澤弥七（十代）、吉田玉男（初代）、
豊松清十郎（四代）、吉田繁助（二代）他

販売期間 10月1日（土）11時～10月21日（金）23時59分
※視聴期間は、レンタル日から2週間です。

視聴料金 2,500円（税込） 配信サイト MIRAIL（ミレール）

文楽技術職員 髪・床山（アルバイト（正職員登用制度有））募集のお知らせ

日本芸術文化振興会では、国立文楽劇場（大阪）において、文楽公演を支える技術職員を育成するために、人形制作に意欲ある人材を募集します。今回募集する担当分野は「髪・床山」です。未経験の方も応募いただけます。詳しくは当振興会ホームページの採用情報をご覧ください。
<https://www.ntj.jac.go.jp/recruit>

【髪・床山とは】文楽人形は人間の俳優同様、役柄や場面で髪型や衣裳が変化します。120種類ほどある髪型の中から、公演ごとの役柄と場面に合ったものを選び、髪制作や補修を行い、かしらに取り付け結髪する、かつら師と床山を兼務する仕事です。

日本芸術文化振興会ニュース 令和4年8月号

令和4年7月20日発行（毎月1回20日発行）
通巻649号（昭和43年5月1日創刊）
発行 独立行政法人日本芸術文化振興会
〒102-8656
東京都千代田区隼町4-1
☎03-3265-7411（代表）
<https://www.ntj.jac.go.jp>
印刷 勝美印刷株式会社

- 国立劇場・国立演芸場・伝統芸能情報館
〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1 ☎03-3265-7411（代表）<https://www.ntj.jac.go.jp/>
- 国立能楽堂
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 ☎03-3423-1331（代表）<https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html>
- 国立文楽劇場
〒542-0073 大阪府大阪市中央区日本橋1-12-10 ☎06-6212-2531（代表）<https://www.ntj.jac.go.jp/bunraku.html>
- 新国立劇場
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1 ☎03-5351-3011（代表）<https://www.nntt.jac.go.jp/>
- 国立劇場おきなわ
〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4-14-1 ☎098-871-3311（代表）<https://www.nt-okinawa.or.jp/>

■本誌掲載の公演・イベント等につきましては、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、開催を中止・変更する場合がございます。最新の情報は各ホームページ等でご確認をお願いいたします。
■本誌面は日本芸術文化振興会のホームページでもご覧いただけます。



「日本博」は、総合テーマ「日本人と自然」の下に、日本の美を体感する美術展・舞台芸術公演・芸術祭などを、年間を通じ、全国各地で展開しています。
<https://japanculturalexpo.bunka.go.jp>

李禹煥—もの派と日本の自然観、そして現在へ

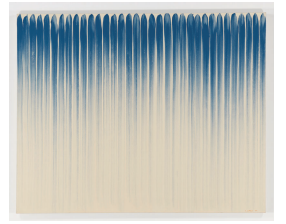
日程：会場 |

8月10日（水）～11月7日（月）：国立新美術館

12月13日（火）～2月12日（日）：兵庫県立美術館

国際的にも大きな注目を集めてきた「もの派」を代表する美術家、李禹煥（リ・ウファン、1936年生）の大規模な回顧展を開催する。

《線より》1977年 岩絵具、膠/カンヴァス
182×227cm 東京国立近代美術館



Japan盆踊りFestival2022～日本の盆踊りと世界の音楽との融合～

日程 | 8月21日（日）

会場 | 池袋西口公園 グローバルリングシアター

千年前から続く盆踊り。全国の盆踊りを改めて体験し、ファッションデザイナー・コシノジュンコ氏プロデュースによる新しい盆踊りを発信するイベント。



落陽一×日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクトVOL.6 《遍在する音楽》

日程 | 8月25日（木）19時開演

会場 | サントリーホール

「テクノロジーでオーケストラをアップデート」をテーマに、あらゆる人へ芸術体験を提供。オーケストラ音楽を軸に、身体的体験をいま問い直す。



落陽一
撮影：蛸川美花

文化芸術活動を未来へ継承するため、2つの基金にご寄附をお願いいたします！

●文化芸術復興創造基金

日本の多彩な文化芸術団体の活動を支援します。「舞台芸術・美術等」「地域文化」「文化財」「映画芸術」を応援できます。

- お問合せ先 基金部企画調査課
- 電話 03-3265-6302（平日10時～18時）
- E-mail kikakuchosa-nt@ntj.jac.go.jp



復興創造基金の
ご案内ページはこちら！



●くろごちゃんファンド（国立劇場基金）

日本の伝統芸能を未来へつなぐ、国立劇場各館を応援！様々な伝統芸能公演や、伝承者の養成、調査研究等を応援できます。

- お問合せ先 くろごちゃんファンド寄附担当
- 電話 03-3265-6719（平日10時～18時）
- E-mail donation@ntj.jac.go.jp



寄附日より

令和3年度にくろごちゃんファンド〈能楽〉にいただいたご寄附は、国立能楽堂 令和3年6月能楽鑑賞教室に使用させていただきました！皆様のご支援に心より御礼申し上げます。

（写真：国立能楽堂 令和3年6月能楽鑑賞教室 能「救生石」高橋亘）

